

平成27年度御殿場市市民協働型まちづくり事業報告会 会議録

日時 平成28年3月25日(金)
午後1時30分から午後3時50分まで
会場 市役所 第5会議室

1 開 会

2 平成27年度市民協働型まちづくり事業実施団体報告会

【市民提案部門】

① **資料1-1 P1**

「魅力ある東山路」づくりから始まる観光ハブ都市御殿場市 <2年目>

団 体 名：東山路観光協議会

行 政 担 当 課：商工観光課

13:40

委員A：アンケートの配布先、配布枚数、どこをねらいとしてアンケートを行ったのか。

団体：配布先地図の裏側に載っているところと東山・二の岡区で協議会のメンバーではないが協賛金を頂いているところを中心に行った。大体25部配布をして回収率は15部だった。この地図をこれからどのように活用していけるか、東山路観光協会にどのような関心があるのかの二つを主旨としたアンケートだった。

委員A：なるべく多くの方が入ってくれているのが分かった。これが仕事に結びついているというところをもっと多くアピールして欲しい。

委員B：初年度の計画の中で、2年目には案内看板を設置するという事に、私自身大変期待していた。また、広報ごてんばには英語版を作成すると限定して書かれていた。市民協働の3年間の中で予算を確保していくということがベターなのかもしれないが、看板設置・英語に対する具体的な日程などはあるのか。

団体：英語版・看板が実行できなかったのは予算のため。お金をかけずにやっていくことも不可能ではないが、時間がかかる。新年度3年目に必ずこれができるかということは難しい。他に何か方法を探して方向を考えていく。

② **資料1-1 P9**

地域ねご活動事業 <3年目>

団 体 名：地域ねご活動の会

行 政 担 当 課：環境課

13:54

委員C：地域猫活動は本当に素晴らしい作業で大変な成果があった。この活動を中間となるメンバーの方とボランティアの方はどれぐらいの人数の方が協力してくれたのか。常時のメンバーを確保できたのか。

団体：湯沢区・東田中区・竈区に関しては、各地区の情報を下さいというボランティアを含めて、ボランティアを募集している。地区のボランティアの方々は、捕獲のために動くことが難しい。捕獲に関しては新橋のボランティアが主体で動いている。

委員C：継続してお願いしたい、個人の力だと難しいので。本当に3年間お疲

れ様でした。

委員B：東田中区は区の補助金事業として活動した。みなさんは市民協働型まちづくり事業の補助金で主体的になって事業を実施した。制度的な違いはあるけれど、この二つについてメリットやデメリットで感じることはあるのか。

団体：やっていることは同じなので、メリットとしては両方の予算ができて多くの周知ができて良かった。東田中区は市民協働課から区の補助金を頂いたが、私たちは新橋地区に猫が入ってきたら困るので、新橋地区の周辺で予算がないところで活動した。来年度は区に協働課からのお金がなくなるので、環境課で予算を取ってくれる。

③ **資料1-1 P20**

御殿場口の外来植物および侵入植物を駆除するためのハンドブック作成 <新>
団体名：特定非営利活動法人 富士山の森を守るホシガラスの会
行政担当課：環境課 14：15

④ **資料1-1 P27**

貴重な植物の群生地や絶滅危惧植物を守ろう <2年目>
団体名：富士山みどりの会
行政担当課：環境課 14：25

⑤ **資料1-1 P49**

第3回富士山アートフェスティバル <3年目>
団体名：NPOありがとう ふじさん
行政担当課：企画課 14：36

委員A：3年間お疲れ様でした。私も拝見したが、とても素晴らしい発表だった。先ほどおっしゃったように、観客が少なく、こんなに素晴らしいパフォーマンスをしてくれる人がいるのを見る方が少なく、広報の問題など色々あったと思う。広報をまだ続けて下さるといことなので、より多くの方が成果を見に来て下さるような取り組みを続けてほしい。

⑥ **資料1-1 P64**

食育とキッズクッキング <新>
団体名：キラキラキッズクッキング
行政担当課：子ども家庭センター 14：44

委員D：ただの料理教室と違って大変有益な料理教室でいいと思う。子供の感想を見ただけでも、すごく楽しかったと書いてあった。これを開催するにあたって子供たちからは参加費または、材料費的なものを徴収していないのか。

団体：家庭センターの方で一人200円徴収している。

委員E：より多くの子ども達に体験してほしいと書いてあるが、感想には何回も参加していて楽しいって書いてある。こんなにいいことをやっているのに、公益性の面からもっと多くの子ども達に参加してもらって、知らない子もたくさんいるので、これからそういうことを少し課題として続けてほしい。

団体：評価会の時に、この話（参加）に対して2回までにした方がいいのではという話もあったが、興味のある子とない子が分かれている。興味があると募集の日いっぱいになって、キャンセル待ちになる。これが来年度の課題にな

る。

委員F：募集については行政側に一任している、非常に特異な活動だと思う。募集について団体は何か要望を出しているのか。

団体：何も出していない。

委員F：22 ページの膨大な報告書は団体の方がまとめて作ったのか。

団体：自分たちが独自で作った。食材は家庭センターにお願いしているが、下準備は自分たちがやっている。

委員F：行政の話から今まで5年間やって非常に連携がとれているということを知ることができた。素晴らしい活動を行って頂いて、食育について頑張っていることに本当に感動した。

委員G：前日事務局から案内を頂いて参加した。砂糖ついでの話は非常に子どもたちが目を輝かせて真剣に聞いていた。講師の話し方が上手だったので、子ども達も引き込まれているようだった。実際に作業に入った時、慣れている子に「普段家でやっているのか。」と聞いてみたが「やっていない。」と回答した。教えて頂いている方から、ちょっと遠目で見ながら子ども達にさせていて、その中で足りないところを応援しているような風景だった。食育という部分で非常に新鮮な食育の風景を見させてもらった。そういう意味で、広報的な部分が問題、広く広めていきたいような活動だと思う。さらに進化して大勢の方に喜びを与えて欲しい。

委員A：過去に実績がある。今回初めて市民協働事業としてされた時に過去の5年間と今年度は行政に対して、どういう心構えが変わったのか。市民協働事業として行ったメリットはどのようにあらわれたのか。

団体：大きなイベントをやる、じみに淡々と進めてきたのですごく変わったことはあまりない。行政との協働関係は始めから良かった。募集で8割エネルギーを使うので、講座に特化できて内容について深く考えられる。講座のことだけを考えることができるのが協働の効果だと思う。ただ、目的として、基本的な教育を伝えるということが強くなってきた。広報に子どもの写真をあまり出せないことが難しいと思っている。

委員F：子どもの写真を出すのではなく料理の写真や後ろ向きの写真を撮るなど、やっている内容がきちんとしているので、そういう目標みたいなものを伝える広報をして欲しい。事業収支決算書の25000円は講師の交通費なのか、

団体：小山町から通ってくる講師と打ち合わせだけでも3回行っている。そのための交通費である。

⑦ 資料1-1 P93・途中経過報告

我が子流子育てをつくろう！～家族のコミュニケーション力向上事業～ <新>

団 体 名：Motherese (マザリーズ)

行 政 担 当 課：子ども家庭センター

15：13

委員F：映画の上映は字幕がついているか。

団体：プレゼンの時は字幕を付けるつもりだったが、時間とスタッフの関係でそれができなかった。

委員F：次回からは字幕をつけて欲しい。

団体：スタッフの一人が裾野で上映会を行ったときは字幕をつけた。

【行政提案部門】

⑧ 資料1-1 P111

鳥獣被害防止のためのパトロール活動 <新>

団体名：鳥獣被害防止隊

行政担当課：農林整備課

15:32

3 講 評 御殿場市市民協働アドバイザー 明治大学 牛山 久仁彦 教授

4 閉 会

*資料1-2「はじめの一步部門」【発表なし】

ブックシェアリングごてんば（ブックシェアリングごてんば）

道しるべ ～気になる子・個性的な子の育児を話す～（道しるべの会）

事後評価

【はじめの一步】

団体名	点（60点満点）
ブックシェアリングごてんば	44.8
道しるべの会	45.4

【市民提案部門】

順位	団体名	点（60点満点）
1	地域ねこ活動の会	51.3
2	キラキラキッズクッキング	48.8
3	東山路観光協議会	48.5
4	Motherese（マザリーズ）	47.8
5	富士山みどりの会	46.2
6	富士山の森を守るホシガラスの会	46.0
7	NPO ありがとう ふじさん	38.5